

ICMIF会員団体： 主要統計レポート2022



ICMIF会員団体： 主要統計レポート 2022

「ICMIF会員団体：主要統計レポート2022」は、協同組合や相互扶助に基づく保険組織と関連団体からなる世界的ネットワークであるICMIFを構成する会員団体の2022年現在における概要をまとめた報告書です。

本報告書ではICMIF会員の200団体1について、所在地域、法体系、所属グループに基づく分析を掲載しています。また、ICMIF会員団体全体の2020年度の財務実績の概要、会員団体の成長性分析、大手会員50団体のリストも含まれます。

財務分析の一部において、比較のため2007年から2020年までの13年間の統計を掲載しています²。過去の年度の合計値は会員団体の異動を加味して更新されており、本レポートの過去版に掲載したデータで修正があったものはその旨注記しました。

¹ ICMIF会員団体の総数および関連分析は2022年3月31日現在のものである。

² 過去の年度についてはいずれも、別段の記載のない限り一定の為替レート(2020年12月31日のもの)を使用して、為替レートの変動による紛らわしい影響を排除し、正確な対前年比較を可能にしている。

0101 001011 10101
11011 001 1101 01
100 110101 000110
11 01110 01 11010
0110 11 01 10 100

110 10111 0100110
10 11 001001 0010010 0100
11001 001 00101001 01
01 001011 01001
100 1011 1101 01 011 1



2020年度のICMIF会員団体

2,470
億米ドル

保険料収入

2
兆米ドル

総資産

226,000
人を超える

人員を雇用

3.56
億人を
超える

会員／契約者数

保険料収入の年間
成長率は

+2.4%

保険市場全体の伸び
は0.04%

70%

のICMIF会員団体が
自国市場の年間成長
率を上回る実績

ICMIF会員団体の総
資産が過去10年で

86%

の増加

ICMIF会員団体の雇
用者数は2017年から
2020年まで

31%

の増加

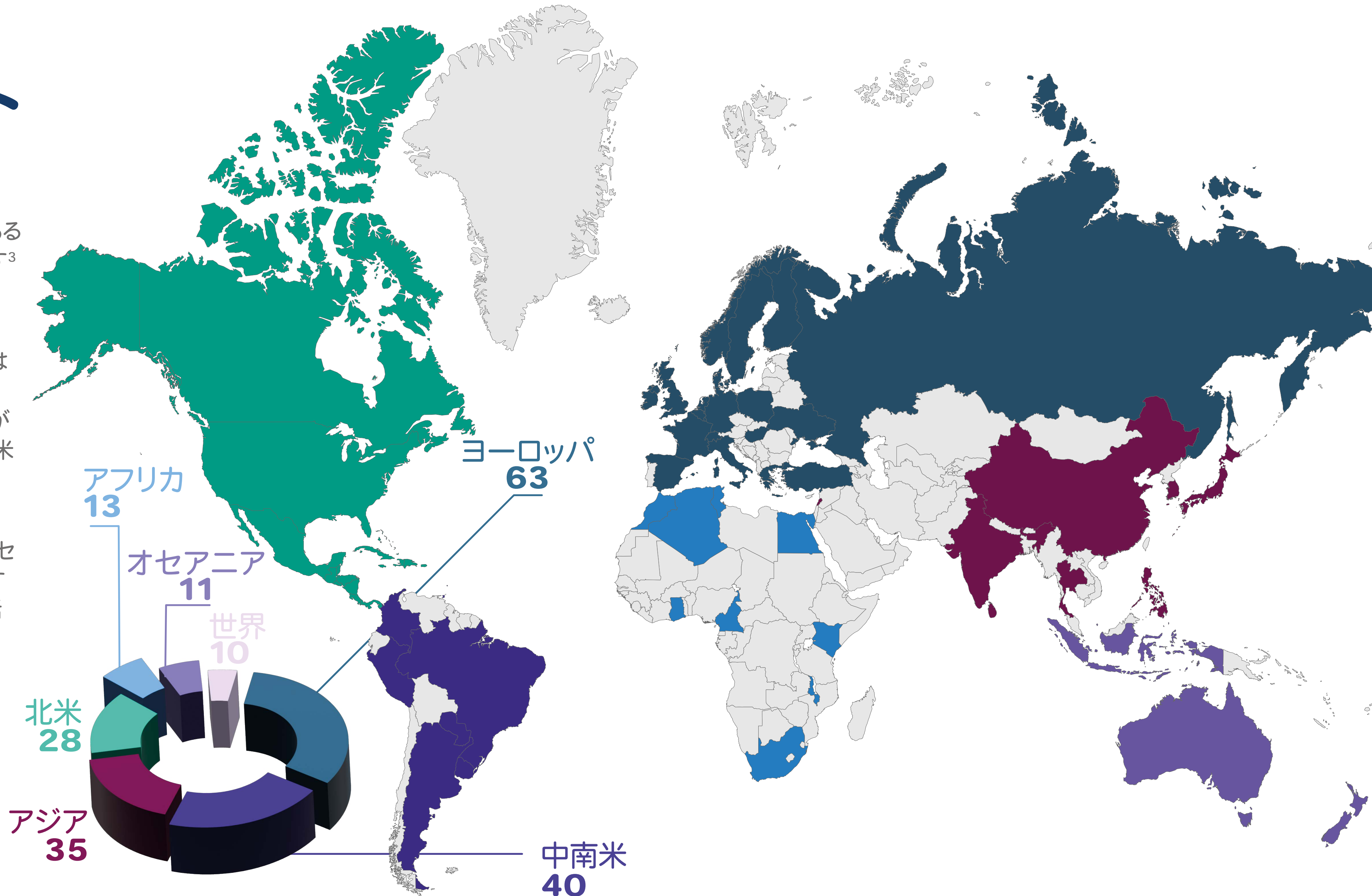


会員団体による世界的ネットワーク

ICMIFは世界の6地域、61か国にある200の会員団体で構成されています³。

ICMIF会員団体の32% (63団体)はヨーロッパ、20% (40団体)が中南米・カリブ海地域、18% (35団体)がアジア、そして14% (28団体)が北米を拠点としています。

残る16%は、アフリカ(13団体)、オセアニア(11団体)の各地域を拠点とする会員団体に加え、グローバルに活動する会員が10団体あります⁴。



³ 2022年3月31日現在
⁴ オブザーバー会員である各種の世界的な協会および賛助会員を含む。

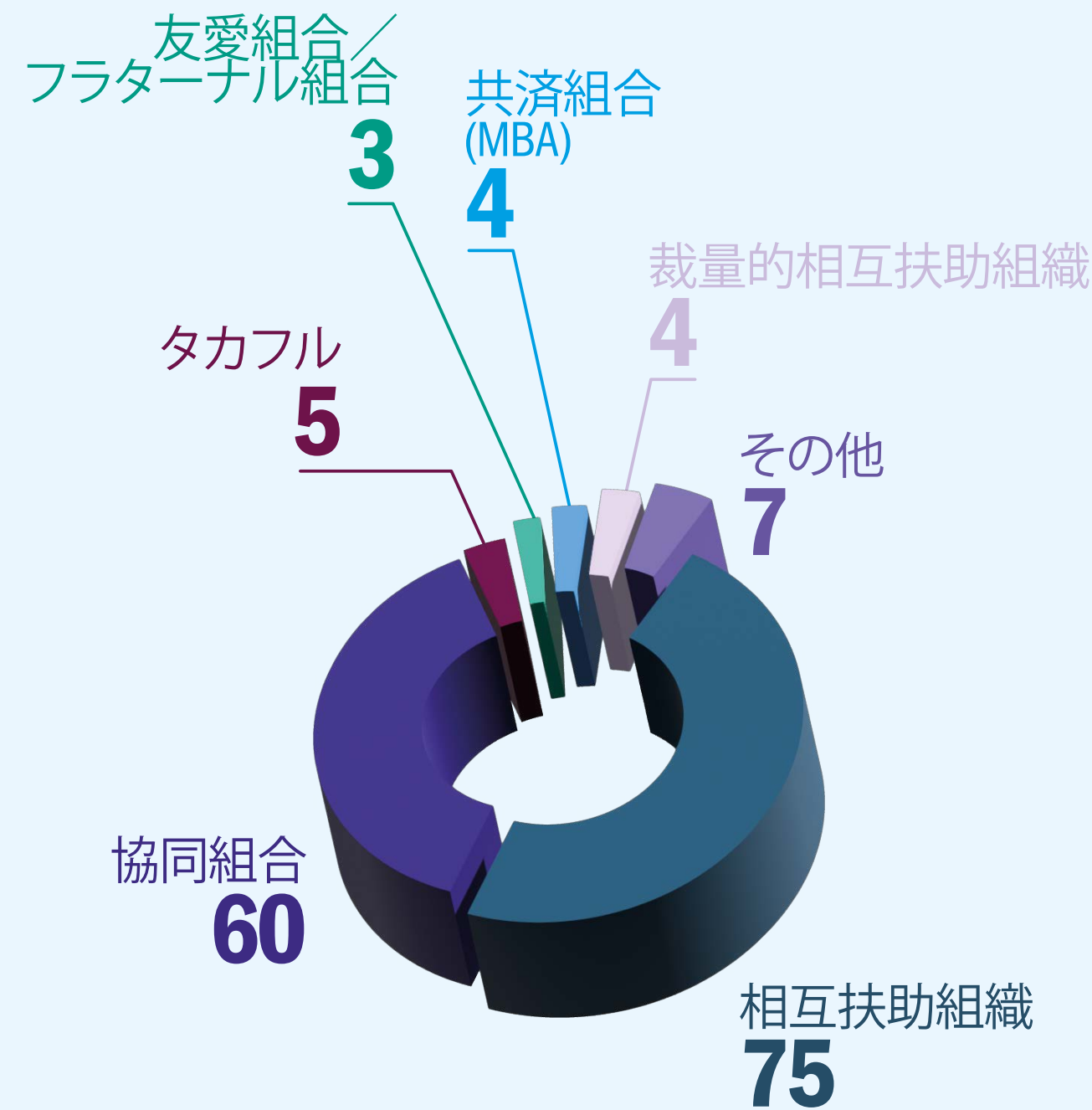
会員団体の種類

保険事業を実施する158のICMIF会員団体⁵の大多数(85%)が相互扶助または協同組合の保険組織です。ICMIF会員団体の47% (75団体)が相互扶助の保険組織、38% (60団体)が協同組合の保険組織です⁶。

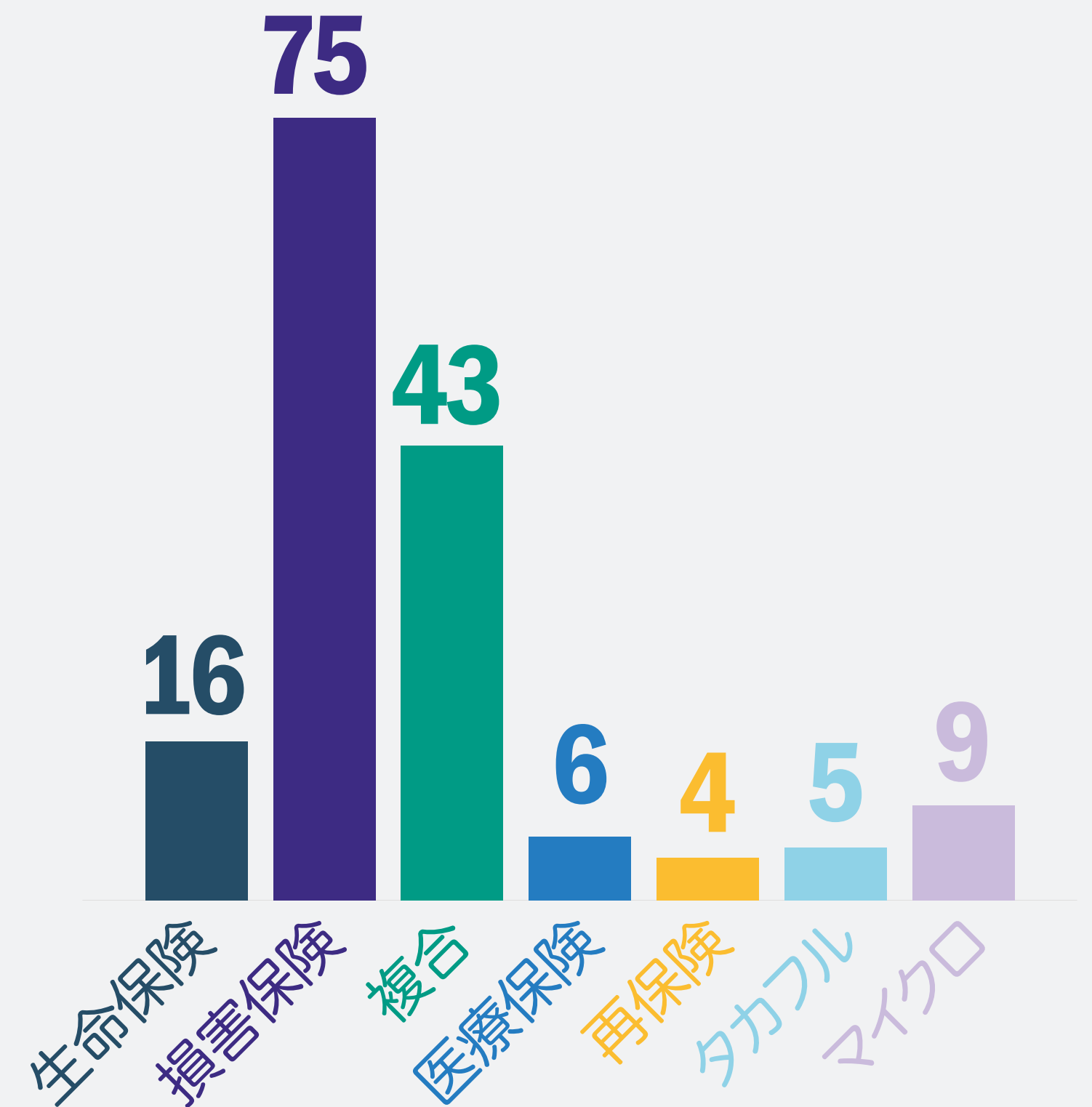
他の組織形態をとるICMIF会員団体には、非営利保険組織、タカフル保険組織、友愛組合またはフラタernal組合、共済組合(MBA)、裁量的相互扶助組織、レシプロカル・エクスチェンジなどがあります。

取り扱う保険の種類別では、会員団体の47%が損害保険団体、10%が生命保険団体、そして27% (43団体)が複合保険団体でした。それ以外のICMIF会員団体は、医療保険団体、再保険団体、タカフルまたはマイクロインシュランス組織に分類されます⁷。

ICMIF会員団体の組織形態



ICMIF会員団体の保険事業種目



⁵ この数値には正会員団体(協同組合または相互扶助に基づく保険組織)および保険リスクを取っている准会員団体(タカフル准会員やマイクロインシュランス組織など)が含まれる。残る42のICMIF会員団体(各種協会、開発・教育機関、非営利保険機関、その他の協同組合/相互扶助組織および賛助会員など)は、その他の准会員またはオブザーバー会員に分類される。

⁶ (法的形式を備えた)相互扶助の保険組織と協同組合の保険組織の両方が含まれる。また、株式会社形態の保険組織で協同組合/相互扶助組織が親または持株会社である組織も含まれる。

⁷ 医療保険団体または再保険団体に分類される一部の保険団体では、一定額の(ダイレクト型)生命保険あるいは損害保険も販売していることに注意が必要。同様に、生命保険団体、損害保険団体または複合保険団体に分類される保険団体が、一定額の医療保険および再保険のビジネスを実施している可能性もある。

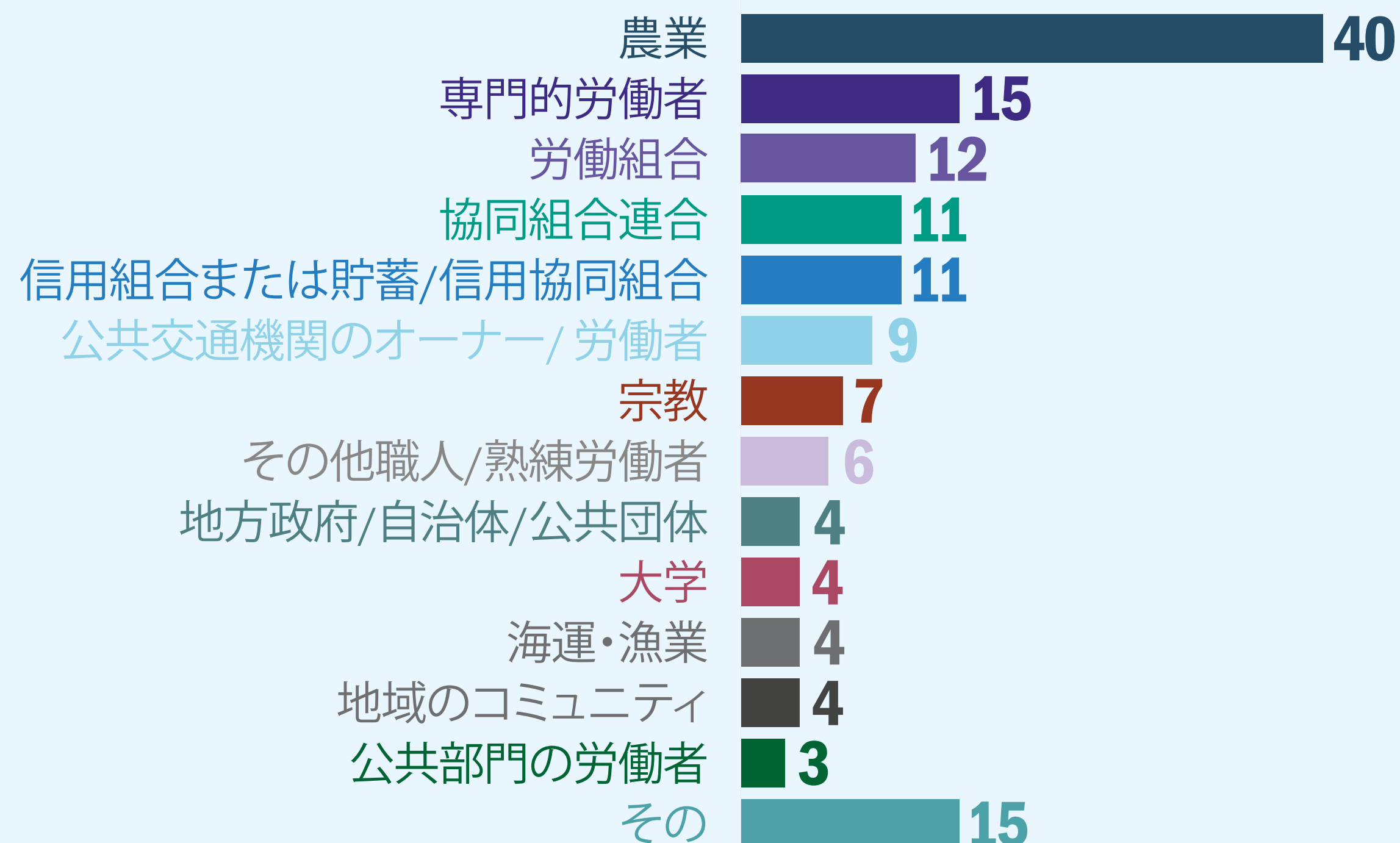
会員団体の所属グループ

ICMIF会員団体⁸の 92%弱 (145団体)には明確な所属グループがあり、合計40を超えるさまざまな所属グループまたは共通の会員グループが存在します。会員団体で最も多い所属グループは農業で、40団体がこのカテゴリーに属します。

22の会員団体がより幅広い協同組合運動と密接に結びついており、うち11団体は信用組合や貯蓄協同組合に、11団体が他の協同組合連合または協会に属しています。

専門的労働者(弁護士、医師、教員、学卒者など)のグループに属しているのは15団体です。労働組合、公共交通部門の労働者またはオーナーのグループはそれに次いで一般的な所属グループであり、それぞれ12団体と 9団体が該当しています。

ICMIF会員団体の所属グループ



⁸ 保険を引き受けているICMIF会員団体を指す。それ以外の13団体は、現在または過去において明確な所属グループあるいは奉仕する(または奉仕するためにその保険団体が設立された)会員/顧客の共通グループが存在していなかった。

保険料収入

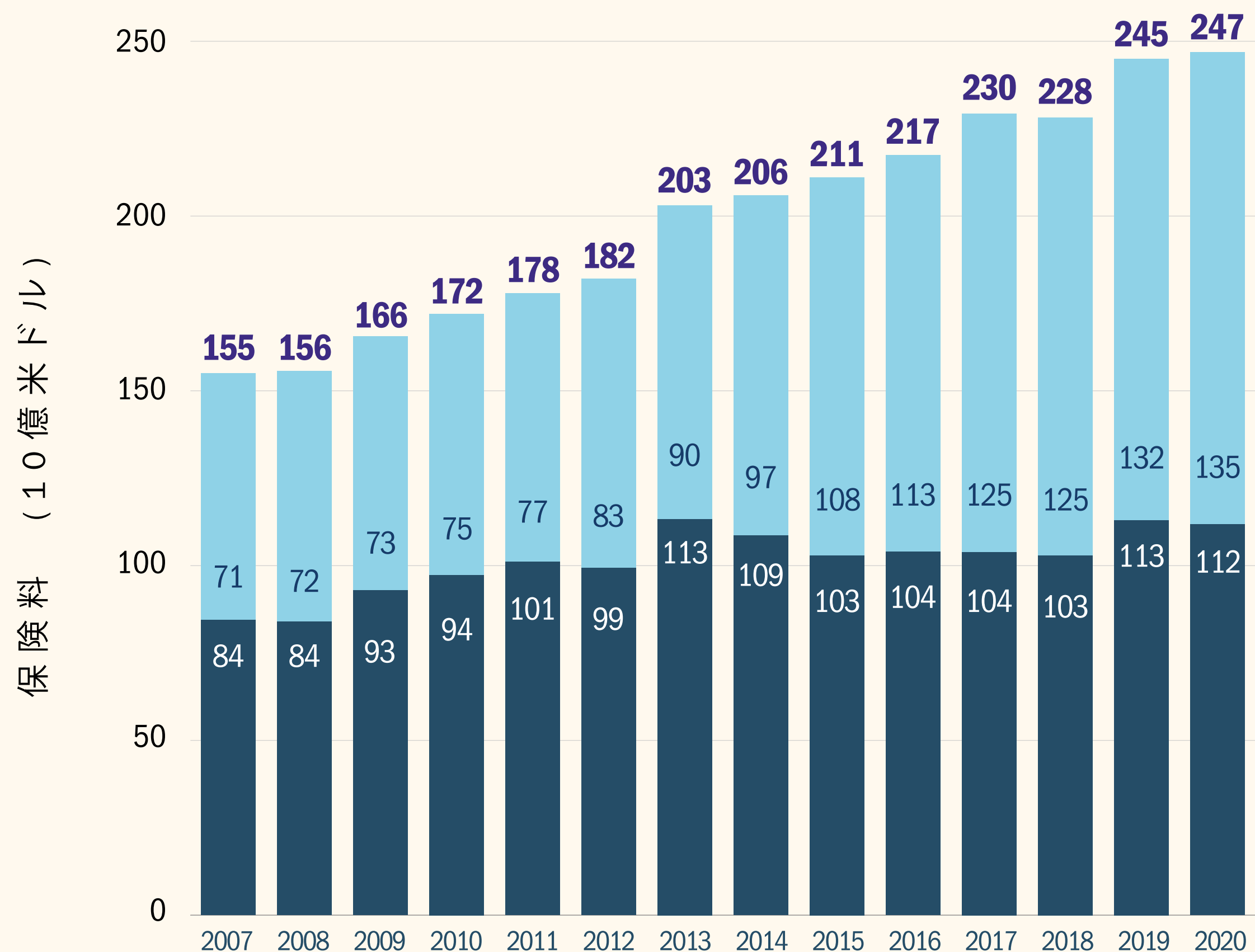
2020年にICMIF会員団体が受け入れた保険料の合計は2,470億米ドルであり、そのうち45%(1,120億米ドル)が生命保険、55%(1,350億米ドル)が損害保険からの収入でした。

全会員団体の2020年の保険料収入の53%(1,320億米ドル)をヨーロッパが占めました。アジアは28%(680億米ドル)、北米は16%(410億米ドル)をそれぞれ受け入れました。オセアニアとヨーロッパの会員団体は、2020年の保険料収入がそれぞれ前年比+9.6%および+8.5%と過去最高の伸びを示しました。

保険料収入

損害保険

生命保険

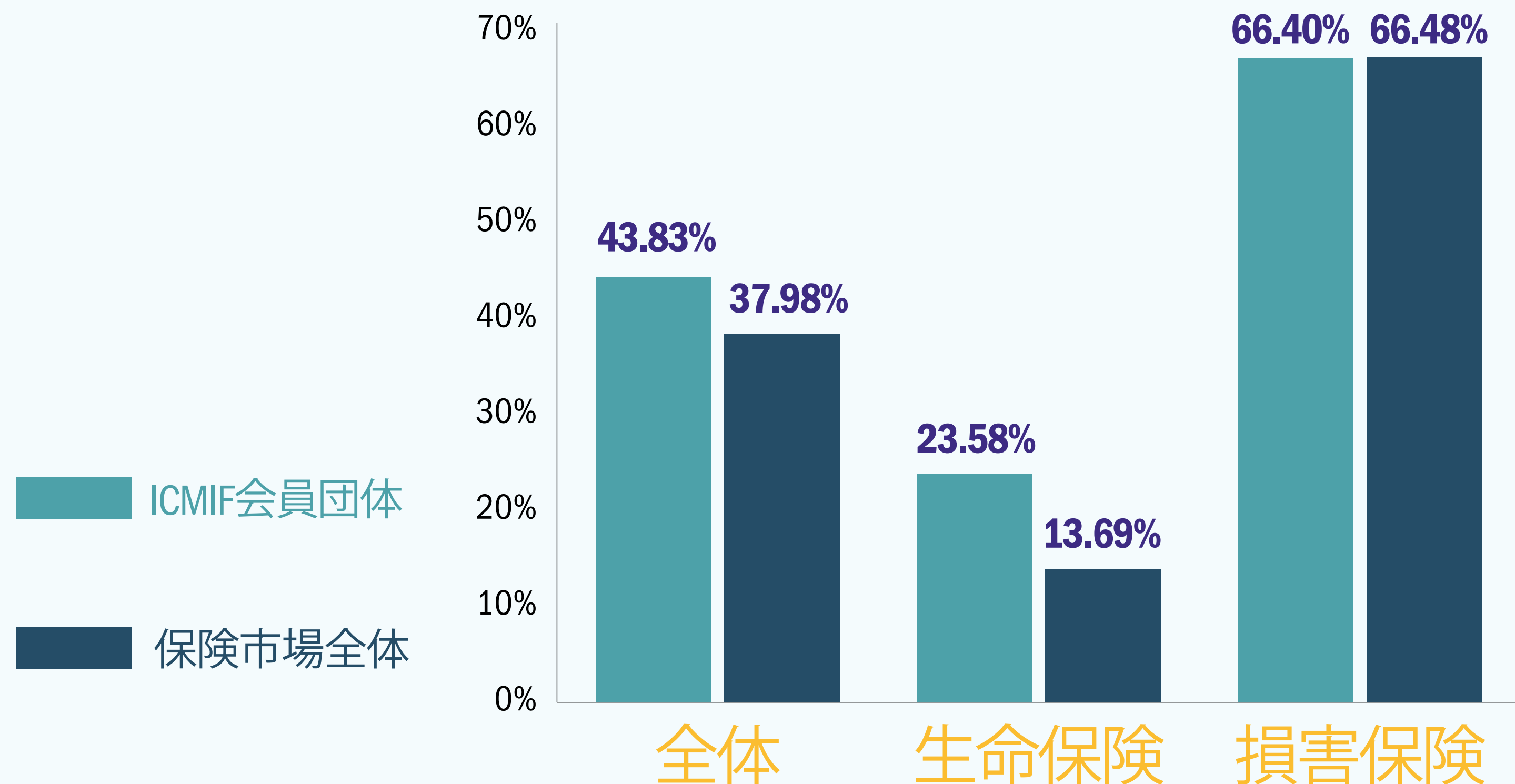


保険料収入の伸び

財務データが入手可能な2007年以降、ICMIF会員団体は総体として世界の保険市場全体よりも高い成長を遂げてきました。この13年間でICMIF会員団体全体の保険料収入は43.83%⁹増加し、保険市場全体の保険料収入の成長率37.98%¹⁰をおよそ6%上回りました。

2007年以降の会員団体の保険料の伸びは、生命保険事業において市場全体の成長率を10%程度上回った一方、損害保険事業では市場全体の成長率に0.08%及びませんでした。生命保険の分野では、会員団体の保険料収入の成長率が23.58%だったのに対し、市場全体の成長率は13.69%でした。損害保険の分野における2007年以降の会員団体の保険料収入の成長率は66.40%と、市場全体の成長率66.48%をわずかに下回りました。

保険料収入の成長率 (2007-2020)



⁹ 2007-2020年の年度ごとに異なる為替レートを使用し、世界の保険市場全体の伸び率との比較時の整合性を保っている。

¹⁰ 保険市場全体のデータはスイス・リー社の好意により同社の「シグマ調査報告書 3/2021 - World insurance: the recovery gains pace, July 2021」を参照している。

保険料収入の前年比成長率

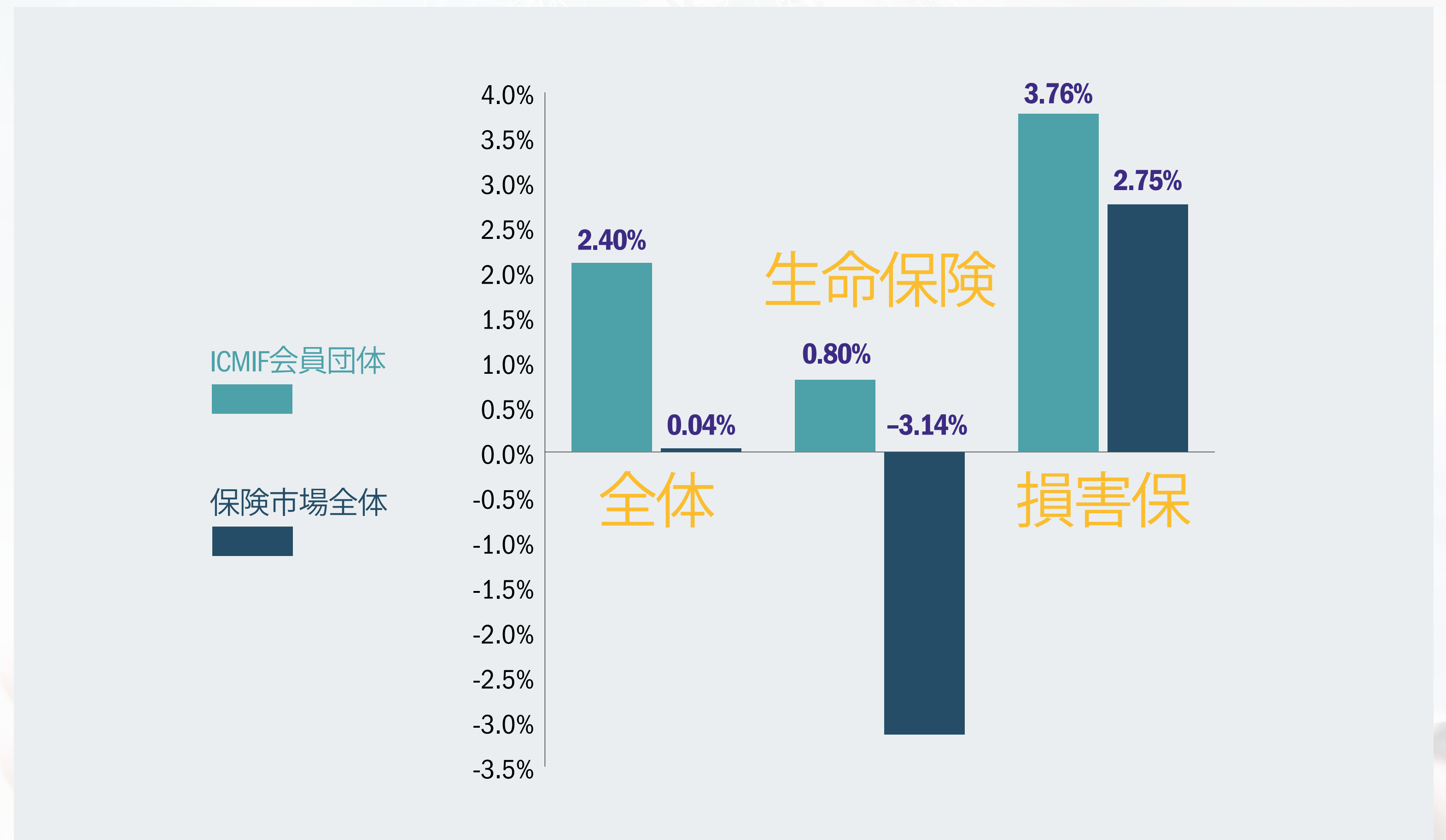
全体の保険料収入、生命保険部門、損害保険部門のいずれにおいても、ICMIF会員団体が前年比成長率で保険市場全体を上回りました。2020年における会員団体の保険料収入は前年比2.40%増加しましたが、市場全体では0.04%でした。会員団体の生命保険事業は前年比0.80%増加し、市場全体は3.14%減少しました。一方で、会員団体の損害保険事業の成長率は前年比3.76%、市場全体は2.75%となりました。

会員団体の保険料収入の前年比成長率 (現地保険市場との比較)

ICMIF会員団体¹¹の70.3%が、保険料収入において現地保険市場の2020年の前年比成長率を上回りました。

ICMIF会員団体のうち、現地保険市場の前年比成長率を0～20%未満の範囲で上回ったのが全体の55%、20%以上超過したのは全体の15%でした。

保険料収入の前年比成長率 (2019-2020)



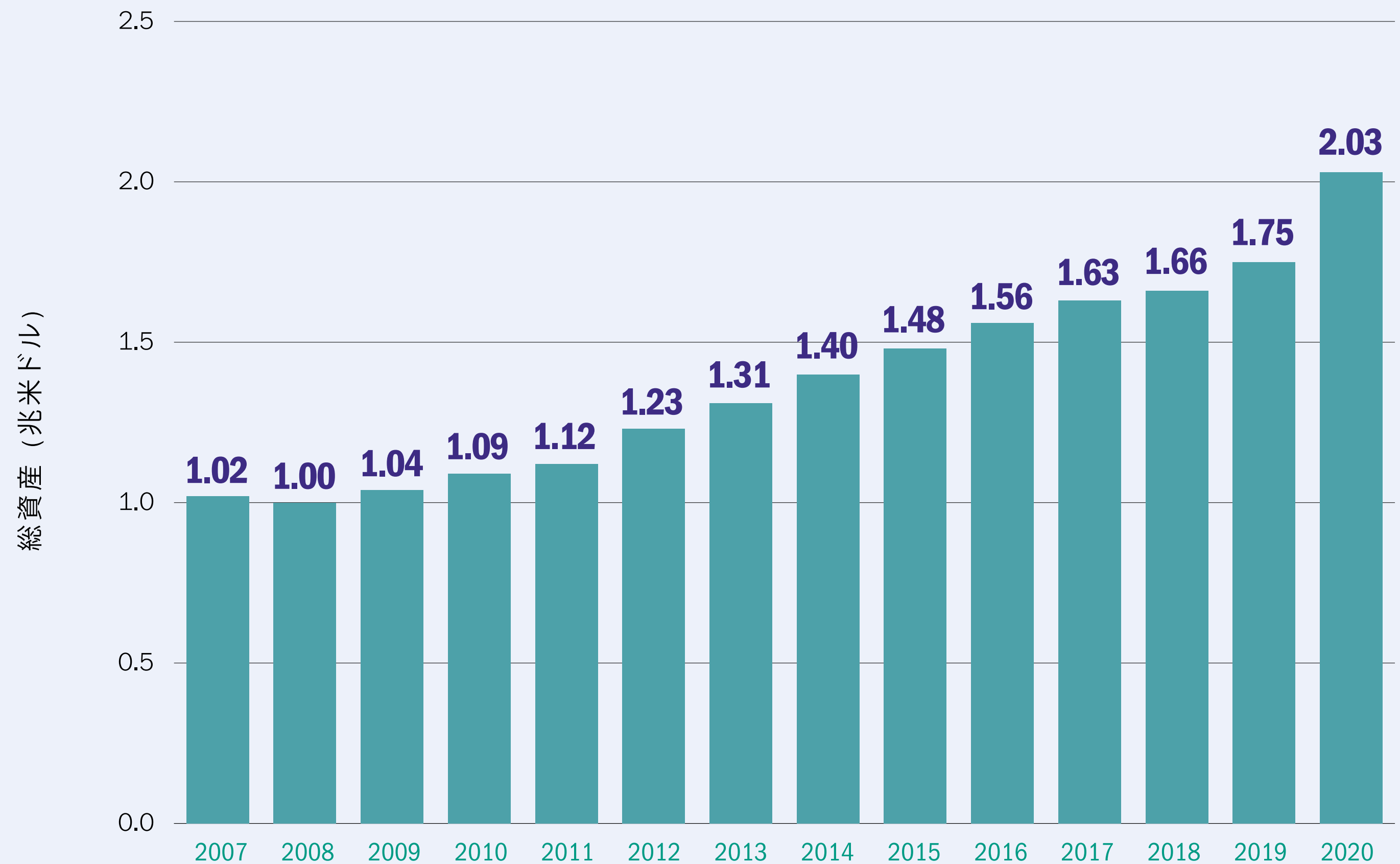
¹¹ 保険リスクを取りかつ2019・2020年の保険料収入データが当該団体および現地保険市場のいずれに関しても入手可能な128のICMIF会員団体からなる。

会員団体の保有資産

ICMIF会員団体の保有資産の価値は2008年以降毎年着実に伸び、過去5年間で37%、過去10年間で86%それぞれ増加しました。2020年にはICMIF会員団体の総資産額が初めて2兆米ドルを突破しました。

最新の「[2021年度版ICMIF会員団体における気候変動に対する枠組みへの投資レポート](#)」(英語版)によれば、5,760億米ドルを上回るICMIF会員団体¹²の運用資産が持続可能な投資の枠組み¹³に適合する投資に向けられています。これは2019年の2,860億米ドルから101%、2018年の2,030億米ドルからは184%それぞれ増加しています。

ICMIF会員団体の総資産 (2007-2020)



¹² 「ICMIF会員団体における気候変動に対する枠組みへの投資に関する調査 (2021)」に回答した39会員団体からなる。

¹³ 気候変動に対する投資の枠組みには、国連環境計画・金融イニシアティブの責任投資原則(UNEP FI PRI)、持続可能な保険原則(PSI)、国連が提唱するネットゼロ・アセットオーナー・アライアンス(NZAOA)、グローバル・レポートング・イニシアティブ(GRI)、国連グローバル・コンパクト(GCP)などが含まれる。

ICMIF会員団体・総保険料収入トップ50 (2020年)

	会員団体名	国名	保険料収入(千米ドル)		会員団体名	国名	保険料収入(千米ドル)
1	JA共済連	日本	44,950,204	26	P&V	ベルギー	1,879,401
2	Achmea	オランダ	22,899,049	27	コープ共済連	日本	1,845,277
3	R+V	ドイツ	21,633,157	28	共栄火災	日本	1,583,358
4	AéMA GROUPE	フランス	16,551,329	29	AmericanAg	米国	1,290,622
5	Gruppo Unipol	イタリア	13,937,360	30	Vaudoise Assurances	スイス	1,236,982
6	Royal London	英国	11,664,825	31	Anadolu Sigorta	トルコ	1,143,377
7	HUK Coburg	ドイツ	9,188,613	32	Grupo Sancor Seguros	アルゼンチン	1,112,632
8	Desjardins	カナダ	7,392,644	33	IFFCO-TOKIO	インド	1,086,596
9	Nonghyup Life	韓国	5,533,836	34	Seguros Unimed	ブラジル	758,822
10	こくみん共済coop (全労済)	日本	5,339,813	35	Promutuel	カナダ	708,322
11	Folksam	スウェーデン	5,278,769	36	Univé	オランダ	597,123
12	Thrivent	米国	4,729,925	37	Grupo Asegurador La Segunda	アルゼンチン	588,775
13	DEVK	ドイツ	4,526,150	38	Ecclesiastical	英国	561,291
14	Beneva	カナダ	4,464,889	39	San Cristóbal Seguros	アルゼンチン	548,749
15	La Mobilière	スイス	4,360,791	40	Sygeforsikringen "danmark"	デンマーク	531,692
16	MAIF	フランス	4,220,396	41	Fédérale Assurance	ベルギー	489,408
17	Co-operators	カナダ	3,625,413	42	LB Group	デンマーク	475,656
18	Länsförsäkringar	スウェーデン	3,591,131	43	RAC WA	オーストラリア	463,482
19	NTUC INCOME	シンガポール	3,363,906	44	共水連	日本	422,394
20	Wawanesa	カナダ	3,298,847	45	Gore Mutual Insurance	カナダ	383,985
21	Nonghyup Property & Casualty	韓国	3,271,556	46	GF Forsikring	デンマーク	381,146
22	NFU Mutual	英国	2,409,207	47	PPS	南アフリカ	324,205
23	EMC Insurance Companies	米国	2,052,744	48	Seguros Rivadavia	アルゼンチン	319,974
24	Shelter Mutual Insurance Company	米国	1,996,638	49	Cooperativa de Seguros Múltiples de Puerto Rica	プエルトリコ	291,707
25	LocalTapiola	フィンランド	1,979,470	50	AVBOB	南アフリカ	287,758

ICMIF会員団体:主要統計レポート2022

ICMIFリサーチチーム:

プロジェクトマネージャー兼主執筆者:ニック・ドワイヤー (リサーチアナリスト)

プロジェクトスーパーバイザー:ベン・テルファー (ビジネスインテリジェンス担当バイスプレジデント)

編集:アリソン・グラント (コミュニケーション・マネージャー)

デザイン:マイケル・ジョンソン (グラフィックデザイナー)

2022年4月発行

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopy, recording or any information storage and retrieval system, without prior permission in writing from the publisher.

For more information please visit:

www.icmif.org

Follow us on Twitter

[@ICMIF_Web](https://twitter.com/ICMIF_Web)

ICMIF, Denzell House, Dunham Road, Bowdon, Cheshire, WA14 4QE, UK

Tel: +44 161 929 5090

Copyright © International Cooperative and Mutual Insurance Federation (ICMIF) 2022

The International Cooperative and Mutual Insurance Federation (ICMIF) is a best practice organisation committed to giving its members from around the world a competitive advantage. ICMIF helps to grow its mutual and cooperative insurance member organisations by sharing strategies and the latest market intelligence.

icmif
国際協同組合保険連合